

素焼きのハンドベル作り

陶芸では 成型→素焼き→施釉→本焼き の手順でつくられるのが一般的です。素焼きの状態の陶器は、あたたかみがあり、陶器同士が触れ合ってやさしい音が出るのが魅力です。

写真のベルには、アクリル絵の具で後日着色しました。
今回は、黒い土に白の泥しょうで模様をつけます。

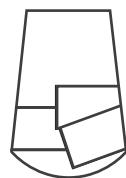


準備

◆ 型紙をカットする



◆ 紙コップに布テープを巻く。

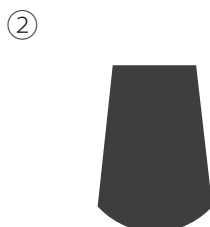


このとき底を倒しておく。

作り方



① 黒い粘土を5ミリの厚さにのばし型紙を乗せ、型紙にそって竹串で粘土をきり、成型する。



② 紙コップに、カットした粘土をまきつけ、筆などを使い、どべではり合わせる。



③ 持ち手をつける。



④ 白い泥しょうで模様をつける。

持ち手や、装飾に工夫をして
世界にひとつのベルを作りましょう!!



ものづくり☆夢づくりの様子を
ブログでご覧いただけます。

「わくわくつくログ」
<http://waku2.npoart.com/>



制作 (株)イーエム ミニナルアート

MINARU
<http://mininaru.com/>